

2019年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部                      国際社会科学科                      2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 タルトゥ大学 Faculty of Social Sciences
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年9月2日～2020年6月28日 出国日                      2019年8月22日 最終帰国日                      2020年7月22日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

### 1. 留学全般について

#### (1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

ほそぼそ続けたブログを見返すと、日々丁寧に、どうにか一日も無駄にせずに充実させようと、努力していたのかなと思います。

留学前の志望動機では、留学先大学で経済経営分野の知識を深めて国際的な視野を養うということが目標に挙げていましたが、一年の留学を通して、「国際的な視野」の具体化、またそれらの目標以上の学びと変化がありました。正直、自分自身の内面の変化が、留学の一番のテーマになったと思います。

まず、日々の勉強面では、専門分野での英語の向上だけでなく、グループワークやスタートアップイベントを通じて、国籍、年代を問わず、関わるすべての人の起業アイデアから各国のニーズや社会問題を考えることができました。皆モチベーションが高く、圧倒されてしまう毎日でしたが、とても刺激的な環境に参加することができました。

次に、自分自身の変化として、1つ目は自分の意見を少しずつですが、過度に遠慮せず、主張できるようになったことです。もともと、英語での会話は問題なくできた方ですが、自己主張をするのが怖く、相手に共感する一方で、ため込んで大きなストレスを感じてしまう性格でした。しかし、言わないと誰もわからないし、自分が負担に感じてしまうことを意識し、少しずつですが、友達のおかげで自己主張ができる自分に変化できたと思います。

2つ目の変化として、私が専攻する「国際社会科学」について考えることが増えたと思います。エストニアで出会った多くの学生が、自分が学びたい専門分野の知識に貪欲であり、各自専攻している学部と将来就きたい職業が一貫していたことがかなり印象に残っています。

(例えば、ゲームが好きだから software engineering 専攻。将来はゲーム会社に勤めたい。など)。そのため、互いに将来何になりたいのか話す機会が多く、度々現在の私と照らし合わせて私の専攻分野について考える事が多かったです。正直、ビジネスなんて日々の経済ニュースや本を読めばわかるのではないか、私は本当に興味がある分野を専攻しているのか、私は今何を学んでいるのかなど、かなり思い悩みました。しかし、改めて ISS の教育カリキュラムを熟読し、国際的なビジネスで必要な科目を専門的に学ぶことに惹かれて入学したこと再確認できたので、卒業までの残りの期間、この学科で学べることを最大限吸収していきたいと思っています。

## (2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

英語の勉強、エストニアに到着してから用意するもの (Estonian ID code, ISIC card, 現地の銀行口座を作るなど..) について調べておくと良いと思います。

## 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

各授業の生徒数が約 20~30 人程度ですので、教授と生徒との距離が近く、いつでも授業内容についての質問や意見を伝えることができる環境です。コロナウイルスによるオンライン化にも比較的すぐに対応できていたと思います。

### (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

私が通っていたキャンパスが全て寮から徒歩 15 分圏内にありますので、次の授業のために別のキャンパスに移動する際でも、焦らずに行動することができました。大学図書館には勉強スペース、ジム、グループワークができる個室やピアノがあるので、ほぼ毎日通っていました。コロナ緊急事態宣言前までの 2 学期の授業は、今年の 2 月にオープンした、学生寮近くにある新校舎 DELTA で授業が行われました。カフェテリアのランチの値段も学生価格なので、よくそこで食事をしました。

### (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面においては特になかったように思います。タルトゥで必要となる Estonian ID code や、VISA (現地での VISA の申請を希望する方) についてはタルトゥ大学の Study Abroad Center が訪問時に丁寧に教えてくださいました。

**資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。**

現地での奨学金の応募はしていませんのでわかりません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

治安はかなり良いです。置き引きや暴力的なケンカの様子も見ることなく、真夜中に女性一人で歩いている姿も見られます。ただ、アジア人は良くも悪くも目立ちますので、2、3月のコロナウイルスが流行ったときはアジア人をウイルス扱いして遠ざける人や叫んだりする人もいたと友達から聞きました。(この時期はヨーロッパ全体がそうだったと聞きましたので、エストニアに限った話ではないと思います。)

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

勉強をするにはタルトゥがベストな環境だと思います。勉強に対する意識が高いまじめな生徒が多く、図書館やジムの設備も整っています。授業によっても学士修士が合同になって学ぶ科目もありますので、年齢学歴関係なく様々な人と一緒に受講できるのはとても刺激的でした。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Emerging Markets in World Economy (6 ECTS)	Emerging Asian Economy and society (2)
Marketing Management (6 ECTS)	Marketing Strategy (2)
Macroeconomics (6 ECTS)	International Finance: Theory (2)
Marketing (5 ECTS)	マーケティング (経営学科) (4)
Strategic Management (3 ECTS)	Special lecture on International Social Sciences: Innovation (2)
Human Resource Management and Organization Behavior (6 ECTS)	Cross-Cultural Organizational Behavior (2)
Asia and Pacific Business (6 ECTS)	Modern Chinese Economy (2)
Public and Third Sector Marketing (6ECTS)	経営学特殊講義 (地域活性化のマーケティング) (2)
Chinese for Beginners I (6 ECTS)	中国語 B (初級) (2)
Chinese for Beginners II (6 ECTS)	中国語 C (初級) (2)
The history of the Baltic States in the 20th Century (6ECTS)	申請していません。
Estonia and Estonians (3 ECTS)	申請していません。
The Story of Jazz (3 ECTS)	申請していません。
Sextual Theology (3 ECTS)	申請していません。
計 71 ECTS	計 22 単位

### 3. 宿舎について

#### (1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ( )

#### (2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 €230 、(日本円) 約 28,455 円

#### (3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) 自炊 / その他 ( )

#### (4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ( )、計 10~15 分

#### (5) 感想、良かった点・悪かった点

タルトゥ市は学生の街として有名で、中心地にたくさんの大学施設ありますので、ほとんどの大学施設は徒歩で通学することができます。

### 4. 費用について

#### (1) 学 費

留学先大学の学費は払っておりません。

#### (2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ( )、(日本円) 約 往復 140,000 円

#### (3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 €614 、(日本円) 約 75,964 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

#### (4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード、クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード  
現金 / その他 ( )

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

基本クレジットカードを使っていて、正直現金は全く使いませんでした。現金は友達に払ってもらった際、後で払う時に使っていました。クレジットカードの場合は特にロシアなどの旅行先でスキミングされたりする場合がありますので注意が必要です。

#### (5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

長期 40 万円 :

- ・寮費全額 約 31 万円
- ・保険 残りの約 9 万円

### 5. 保険について

#### (1) 保険会社名

東京海上日動火災保険

#### (2) 保険料

104,860 円

### (3) 加入した保険の種類、内容

契約タイプ: G19

補償項目	保険金額 (円)
障害死亡	30,000,000
障害後遺障害	30,000,000
治療・救援費用	100,000,000
疾病死亡	10,000,000
空港機寄託手荷物遅延等	100,000
空港機遅延費用	20,000

### (4) 感想、良かった点・悪かった点

特に使いませんでした。

## 6. 荷物について

### (1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ( )

### (2) 持って行って良かったと思う物

ホッカイロ、湯たんぽ、保湿クリーム。

### (3) 持って行く必要が無かったと思う物

電子辞書

### (4) 持って行けば良かったと思う物

個人的に日本のお茶パック。日本のお茶に興味がある友達が多かったので、彼らに紹介するために持っていけばよかったなと思いました。

## 7. 平日および週末の平均的な過ごし方

### (1) 平日

授業のほかには図書館に行って課題を済ませたり、ピアノを友達に教えたりしていました。たまに ESN のイベントなどでクラブに行ったりして友達と交流を深めました。

### (2) 週末

エストニア国内や近隣国へ小旅行に出かけたり、イベントに参加したりなど、休日もほぼ外出していました。外出自粛要請期間中は、ブログをすすめたり、エストニア語の勉強やデジタルペイントを始めたりして過ごしました。たまに外に出て友達とランニングもしました。

## 8. 後輩へのアドバイス等

留学中は良いことばかりでなく、勉強やフラットメイトなどで苦労したこともありましたが、タルトゥ大学を留学先を選んで本当によかったと思っています。一年は長くてあっという間。

一日一日を無駄にさせないために、帰国までのカウントダウンのアプリを入れて、時間が有限だということを意識すると毎日を充実して過ごせると思います。

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

滞在先が寮の場合、Tartu Üliõpilasküla の Raatuse22 に申請すると思いますが、その際、要望欄に何も書かないとフラットメイトがアジア人のみでかためられたり、日本人のルームメイトと一緒にすると可能性が高いです。もし、特別希望がなくとも、寮でも英語を話す環境にしたい場合は要望欄にその内容を伝える事をお勧めします。

留学後も帰国途中の空港の様子やエストニアのコロナの状況についてブログにまとめていますので是非のぞいてみてください。

<https://nakabeni-life.hatenablog.com/>